

## 平成30年度 各構成団体の取組の詳細

団体名	3. 島根県立大学 出雲キャンパス
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一般健康診断：教職員の受診率100%を達成した。</li> <li>○ストレスチェック：ストレスチェックを実施し、集団分析を実施した。</li> <li>○禁煙対策：平成21年度から敷地内禁煙を継続している。</li> <li>○運動等促進：年2回のウォーキング・プログラムを平成23年度から継続している。</li> <li>○ダイバーシティー：国籍・性別・年齢・障がいの有無などにかかわらず、多様性の共存を目指し、学修・教育・研究などに関わる大学全体と学生支援のダイバーシティー推進の実行組織として『ダイバーシティー推進委員会』を発足し、「みんなのトイレ」の設置や食堂メニューへの使用食材の表記を実施した。</li> <li>○職場の環境管理及び快適職場づくり：2か月ごとの空気環境測定結果を公開した。6月に職場巡視を行い、安全点検を行った。新たに教職員の休憩室を整備した。</li> <li>○「健康いきいき職場づくり」の推進：教職員を対象に「職場の強みアンケート」を実施し、ダイバーシティーをテーマとした職場研修に併せ、働き方に対する意見交換を行うワークショップを開催し、問題意識を共有した。</li> <li>○働き方・休み方の改善：教職員の長時間労働の実態把握および健康状態の把握を行い、過重労働の防止対策を行った。年次有給休暇の取得促進に努めた結果、取得率が向上し、ワークライフバランスの推進に繋がった。</li> </ul>

団体名	3. 島根県立大学出雲キャンパス
取組内容	<p>生涯を通じた健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全体的な取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開講座の開催</li> <li>・ウォーキング・プログラムの開催、教職員の健康診断、ストレスチェックの実施等教職員に対する健康管理</li> <li>・敷地内全面禁煙の継続</li> </ul> </li> <li>○栄養・食生活 <p>若者の健康づくりの推進：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生を対象とした無料朝食会の開催（2回）</li> <li>・食育・健康づくりのための普及啓発活動及び栄養改善・疾病重症化予防のための相談、指導に関する事業に取り組んだ。</li> </ul> </li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①研修会の開催（管理栄養士・栄養士及び一般市民対象）</li> <li>②研修会等への管理栄養士・栄養士の派遣</li> <li>③特定保健指導の実施</li> <li>④アスリートのための食生活支援に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の実施</li> <li>・平成30年度スポーツ医・科学サポート事業への管理栄養士の派遣</li> </ul> </li> <li>⑤災害時の栄養・食生活支援に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関するイベント等への参加</li> <li>・管理栄養士・栄養士の研修会への参加派遣</li> </ul> </li> <li>⑥介護予防 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の開催</li> <li>・松江市の介護予防事業への管理栄養士の派遣</li> </ul> </li> </ol>
取組の感想・評価	<p>公開講座やイベントなどによる活動では、一定の参加者を得ることができており、今後も継続実施していく予定である。</p> <p>大学生に対する食育については、欠食状況や食事の内容等、未だ課題が多く残されているが、課題整理・改善方法について検討し、今後も継続実施したい。</p>



団体名	4. 島根県医師会	
取組内容	たばこ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都受動喫煙防止条例の制定を実現するための署名活動への協力。</li> <li>・世界禁煙デーのポスター配付・掲示。</li> <li>・施設、敷地内完全禁煙。</li> <li>・島根県医師会報に禁煙に関するコラム、禁煙を呼びかけるメッセージ（ロゴ）を掲載。</li> <li>・島根県たばこ対策推進会議に島根県医師会の立場で参画。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の診療の場、産業医として産業保健の現場、学校医として学校保健の現場で指導。</li> </ul> </li> </ul>
	運 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の診療の場、産業医として産業保健の現場、学校医として学校保健の現場で指導。</li> </ul>
	食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の診療の場、産業医として産業保健の現場、学校医として学校保健の現場で指導。</li> <li>・島根県食育・食の安全推進協議会に島根県医師会の立場で参画。</li> </ul>
	健 診 受 診	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関で各種健診を実施。</li> <li>・産業医として職場健診、健診後の事後措置を実施。</li> <li>・学校医として学校保健の現場で児童生徒、職員の健診を実施。</li> <li>・受診啓発ポスターの掲示。</li> <li>・がん検診受診率向上を目指した街頭キャンペーンへの参加。</li> <li>・がん検診受診啓発キャンペーンへの協賛。</li> </ul>
	継続的 な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺予防啓発ポスターの掲示。</li> <li>・メンタルヘルスケア研修会の開催（島根県医師会産業医部会主催）。</li> <li>・島根県自死総合対策連絡協議会に島根県医師会の立場で参画。</li> </ul>
取組の感想・評価	<p>健康と長寿は大変重要な課題であり、島根県医師会としてもたばこ、運動、食生活等生活習慣に関する取り組みは、診療の場での指導、ポスター、産業医活動あるいは学校医活動等を通して行っている。また、種々の健康診断ではかなりの割合でメタボリックシンドロームに相当する方がおられ、よりよい生活習慣の指導等を行っている。</p> <p>健診結果後の精密検査の受診率の向上に努めており、十分とは言えないかもしれないが、それなりの効果はある程度あると思われる。継続的な取り組みは今後も実施していく予定である。その他、認知症やフレイルについての取り組みも大変重要な課題であり、行政や介護関係機関と連絡を密にして取り組んでいきたい。</p>	



団体名	5. 一般社団法人 島根県歯科医師会
取組内容	<p>1) 口腔機能維持管理研修について</p> <p>(1) 歯科保健従事者研修会の開催（会場；根県歯科医師会館・西部会館）</p> <p>平成 30 年 11 月 8 日（木）に、歯周病の危険因子である喫煙のリスクおよび、禁煙の重要性について研修会を開催しました。</p> <p>当日の講演は、NPO 法人しまね子どもをたばこから守る会 理事長 春木 宥子 先生と本会学校歯科部常任委員 鐘築 剛 先生のお二人にご講演いただきました。</p> <p>講演では、喫煙によって起こる喫煙者自身の体の変化や、周りへの影響（受動喫煙等）に関する基本的な概念とともに、実際の影響を受けたことを示す調査データなども交え、解説していただきました。加熱式たばこの代表的な製品を示しながら、加熱式たばこが紙巻たばこと比べて有害物質が低いとは限らないとの説明もありました。</p> <p>また、子どものう蝕と受動喫煙を調べた結果、因果関係がほぼ確実であることが判定されたことや、健診結果後の事後措置について歯科医師所見欄へ「CO 要相談」と記載することや、歯科健康診断で CO と判定された結果をよりよく活用する必要性を伝えておられました。</p> <p>〔講演Ⅰ〕と〔講演Ⅱ〕の間に仁多養護部会の 3 名の先生方から「歯と口の学習ノート」の紹介があり、会場後方には「歯と口の学習ノート」の中で紹介されている媒体の実物が展示されました。参加者は休憩時間を利用して、興味深く展示されている媒体を手にとっておられました。</p> <p>最後に、参加者の方々の質疑応答、そして事前質問の内容も含め情報提供が行われました。</p> <p>(2) 歯周病予防管理研修・糖尿病の医科歯連携研修会開催（会場；島根県歯科医師会館）</p> <p>平成 31 年 12 月 23 日（日）に開催しました。</p> <p>研修テーマは、「よりハードルの低い連携 ～明日からはじめられる医科歯科連携～」。</p> <p>なお、今回は日程調整の都合により、歯周病予防管理研修と糖尿病の医科歯科連携研修を本館（松江市）1 会場で半日の研修としました。</p> <p>〔講演Ⅰ〕と〔講演Ⅱ〕は医療法人社団シマダ 嶋田病院（福岡県小郡市）から坂本 則子糖尿病連携コーディネーター、川邊 直子 歯科衛生士から、病院を拠点とした地域での歯科と医科との連携に取り組まれた実際の様子や、歯科のない病院での歯科衛生士による院内での取組などをご紹介いただきました。糖尿病連携コーディネーターが病院と診療所をつなぎ、患者さんがより糖尿病の治療が継続できるよう（ドロップアウトしないよう）にするために行っている取組例を示していただきました。また、歯科のない病院であるため、地域の歯科診療所の先生方との連携することで入院患者さんに必要な歯科医療を受けてもらえるような体制を整えるとともに、患者さんが退院されるときへの対応なども、ご紹介いただきました。特に嶋田病院では「糖尿病連携手帳」に歯科の記載スペースを広くするシール（新しい手帳ではその様式がそのまま掲載されている）や、数値が記載されたシールなどを作成することによって、手帳が十分活用され</p>



るようにするために工夫されてきたことを紹介されました。

〔講演Ⅲ〕は愛媛大学大学院医学研究科 疫学・予防医学講座 古川 慎哉 准教授からは、糖尿病患者数の推移について年齢調整することでデータを見直すと、実は経年的にあまり変化がないことを説明され、一般的にとらえられている視点とは異なるところがあるとの説明がありました。

途中、自身が糖尿病患者さんの診療の中で指導している運動も、研修会参加者に実際に体験してもらえるように講演の中で紹介され、講演者と参加者と交流するような講演となりました。

研修の最後に設けている質疑応答とディスカッションの時間では、参加者からの質問が複数あり、講演で示された内容に関するもの、県内で取り組んだ事業結果から見えてきた疑問点など、活発な意見交換が行われました。

(3) がん患者の周術期口腔機能管理研修会の開催（会場；島根県歯科医師会西部会館）  
平成 31 年 3 月 10 日（日）に開催しました。

研修は松江市立病院歯科口腔外科 科長 成相 義樹 先生、同病院放射線科 放射線治療室長 森山 正浩 先生にご講演いただきました。

研修 1 では、「当科における周術期口腔機能管理の現状」と題し、松江市立病院歯科口腔外科で周術期口腔機能管理に 2014 年から取組はじめ、現在では、緩和ケア病棟がある病院という特性から周術期口腔管理料（Ⅲ）が多いこと、悪性腫瘍以外の呼吸器疾患や心不全等の心疾患による口腔機能管理依頼が増えてきていることなどの説明がありました。口腔ケアに関する現状の調査結果報告および口腔機能管理を行う際の留意点について、症例を具体的な対処などと合わせて紹介されました。

研修 2 では、「放射線治療について」と題し、講演をされました。放射線とはどのようなもので、普段の生活ではどのように関係しているのかという視点から話が始まりました。

患者さんへ放射線とは何かということについて、どのように説明をするのか、また、実際の診療で活用されている線量は、どの程度のものなのかといったベーシックな内容から、治療にあたっては線量をできるだけ少なくするための技術や、他の正常な細胞を傷つけないようにするために工夫されていることなど、症例から治療について一連の流れを知ることができました。また、市立病院に設置されている機器の紹介そしてそれに携わるスタッフについても紹介をされたことで、地域のがん拠点病院としての様子を垣間見ることができる内容でした。

(4) 高齢者の口腔機能と低栄養予防対策研修会（会場；島根県歯科医師会館・西部会館）

平成 31 年 2 月 24 日（日）に開催しました。

本会地域福祉部常任委員清水 潤 先生から事業に関する報告、基調講演では、九州歯科大学 地域健康開発歯学分野 准教授 岩崎 正則 先生にご講演いただきました。

事業報告は『松江市高齢者の低栄養・重症化予防事業について』と題し、平成 30 年度



から松江市でモデル事業として開始した高齢者の低栄養・重症化予防事業の概要を報告されました（結果については、中間報告）。

事業の目的及び流れをはじめ、訪問栄養指導実施、そして平成30年6月1日～平成31年3月31日までの事業実施期間の工程表を示されて説明をされました。BMI20未満、歯科医師の判断などにより、対象となる方は31名と想定されたものの、実際の訪問成立につながった方は28名であったと結果で報告されています。結果から明らかになったことを踏まえて、検討課題として対象者の選定、栄養指導の場所、訪問するにあたっての要件（所要時間・回数・スケジュールの調整・駐車場の確保など）等が挙げられました。最後に、今後の低栄養予防事業として後期高齢者歯科口腔健診の拡充展開及び歯科・栄養協働事業の模索は必須であるため、地域の実情に合わせて進められることを期待している、と報告をまとめられました。

基調講演では、『高齢者の低栄養予防における歯科の役割 -疫学的知見を中心に-』と題してご講演いただいています。はじめにオーラルフレイルの概念図（2018年版）、高齢者における口腔保険と栄養・食生活について触れ、「歯を失う/口腔機能低下」が「死亡リスク上昇・医療費増加」につながることを示されました。講演は①口腔の健康と長寿、②口腔の健康と医療費、③口腔の健康と栄養の関連を探る研究、④口腔の健康と栄養の関連から見た健康長寿-航空の健康と栄養の双方向の関連-、⑤砂糖摂取とう蝕のリスク、⑥栄養状態と歯周病のリスク、⑦歯科補綴治療後の栄養状態の変化、⑧栄養状態と歯周病治療の予後、⑨栄養介入による歯周組織状態の変化と9つの項目について、根拠となる調査や結果等を示した講話をされました。

フロアからは、報告について行政とのモデル的な実施に関して、他地区で同様の事業を行うにあたっての参考意見を伺う内容や、基調講演で紹介された調査結果なども踏まえ、歯科と栄養がお互いに活用できる簡便な調査票作成の要望など、今後の取組につながるような質問が多数あげられました。

## 2) 「歯周病唾液検査」の普及について

### (1) イベント及び事業所での唾液検査の体験実施について（2回実施）

#### ① 浜田市健康・福祉フェスティバル（2018.10.21）

会場；浜田市総合福祉センター・体験者数；30名

#### ② 県民公開講座（2018.11.3）

会場；島根県歯科医師会館・体験者数；47名

①は、浜田市が主催するイベントで実施しました。

体験された方には結果通知書送付先の確認とあわせて、アンケート調査にも協力してもらいました。

②は、昨年同様、本会主催のイベントでブースを設け、来場者に体験してもらった。実施数が決まっているため、体験希望者には会場時に整理券を受け取ってもらう形をとりました。①と同様に、体験された方には結果通知書送付先の確認とあわせて、アンケート調査にも協力してもらいました。

## 3) 奥歯総点検事業について



	<p>昨年に引き続き、事業実施をしている。</p> <p>東・西部口腔保健センターで実施日を設け、障がい者グループ等の予約を受けて、歯と口腔の健康づくり体験教室を実施しました。</p> <p>昨年度作成したチェックシートを改変し、チェックシートに取り組んだ本人がそのまま結果を持ち帰り、自分のために活かせるような自己完結型のチェックシートとなるように、3種類ともリニューアルしました。</p>
取組の感想・評価	<p>2) 「歯周病唾液検査」の普及について</p> <p>①のイベントでは、試食コーナーの設置がありました。検査の性質上、試食された方は検査を実施できません。しかし、イベント開催では、「試食コーナー」は切っても切れないものようですので、食事時間を避けられるようにする配慮がイベントでの実施する場合には、必要と考えます。</p>

団体名	6. 一般社団法人島根県薬剤師会
取組内容	<p>1. 栄養・食生活</p> <p>①食の相談支援薬剤師の養成と相談専門</p> <p>→薬局や薬剤師が常駐する店舗販売業において、島根県栄養士会の協力を得て講習会を受講した薬剤師による地域住民からの食に関する簡易な相談に対して助言等を実施した。</p> <p>2. 喫煙・飲酒</p> <p>→禁煙支援薬局等において、禁煙希望者に対して禁煙に関するアドバイスなど禁煙に関する支援を実施した。</p> <p>→小中学校及び高等学校の学校薬剤師として児童・生徒に対する禁煙教育や飲酒の弊害の啓発活動を実施した。</p> <p>3. 全体的な展開</p> <p>①「薬と健康の週間」の期間を中心として、各地区で開催される健康イベント等に参加し、「お薬相談」や健康に関する相談に応じた。</p> <p>②セルフメディケーションを推進するとともに、その領域範囲を超えると思料・判断される場合には早期のかかりつけ医療機関受診の勧奨を実施している。</p> <p>③行政主催の各種街頭キャンペーンに参加している。</p>
取組の感想・評価	<p>今後も、地域医療の一端を担う医療提供施設として貢献することはもちろんのこと、地域での健康増進活動に積極的に取り組んでいきたい。このためにも、広く健康に関する相談に応需できるよう講習会等を通して知識の研鑽に努めていく。</p>



団体名	7. 公益社団法人 島根県看護協会
取組内容	<p>1. 住民主体の地区ごとの健康づくり 各圏域の健康長寿しまね推進会議の委員として、協会7支部の支部理事が全員参加している。</p> <p>2. 生涯を通じた健康づくりの推進</p> <p>1) 両親学級の開催（松江・雲南・出雲・浜田）</p> <p>(1) 4会場で約290組の妊婦とそのパートナーへの出産準備教育と妊婦同士の交流の場づくり</p> <p>(2) 出雲・雲南の2か所にて、行政保健師と協会助産師職能委員等で母子保健情報交換会を開催し顔の見える関係づくりになった。</p> <p>2) 働き盛りの青壮年の健康づくり</p> <p>(1) 大学生・高校生を対象のイベント型まちの保健室を開設 島根大学松江キャンパスと安来高校の学園祭の会場で、喫煙・飲酒、栄養・食生活、こころ・休養等の健康相談を実施。</p> <p>(2) 7支部すべてでまちの保健室を開設 常設型は年々利用者が減少傾向のため、行政保健師と情報交換の場を設け、今後の運営について協議をした支部もある。</p> <p>3) 高齢者の健康づくり、介護予防、生きがいづくり</p> <p>(1) 病院・在宅・介護領域で働く看護職を対象に研修 開催日：平成30年11月24日 会場：パルメイト出雲 内容：『“最後まで食べる幸せ”を支える』</p> <p>(2) 介護領域で働く看護師を対象に看護機能強化 開催日：平成30年10月27日 会場：看護研修センター 内容：『介護施設等における看取り研修プログラム』</p> <p>(3) 看護職員等に対する認知症対応力向上のための研修 開催日：平成30年5月25日から27日 会場：看護研修センター 内容：認知症に対する実践的な対応力を習得し認知症ケア対応とマネジメント体制につなげる。</p> <p>(4) 高齢者施設看護チャレンジ交流会 開催日：30年11月26日、12月8日 会場：いわみーる、看護研修センター 内容：高齢者福祉施設における看護ケア等の紹介</p> <p>3. 疾病の早期発見、合併症予防・重症化防止</p> <p>(1) 専門看護師・認定看護師の有資格者は介護福祉施設等の研修講師として支援をしている。</p>



取組の感想・評価	<p>1. 協会7支部の支部長全員が、各圏域健康しまね推進協議会の委員として参加をしている。地域の健康づくり、介護予防、生きがいづくり等の委員と交流する機会となり、予防活動の重要性や行政関係者との連携強化につながっている。</p> <p>2. 両親学級のあり方検討会を行政保健師とすることで、お互いの業務内容や今までの経過などを学ぶ機会となった。</p> <p>3. 介護福祉分野で働く看護職や介護職に対して、高齢者の健康づくり、介護予防、生きがいづくりに関係する研修が多くなり『看看連携の強化』につながりつつある。</p> <p>4. 今年度は保健師・助産師・看護師合同研修会として、日本看護協会会長の福井トシ子氏を講師に迎えて、『地域包括ケア推進にどう取り組むか』の講演を聞き、その後受講者が圏域別でグループワークで情報交換をした。介護福祉現場の看護職・介護職や県・市町の行政関係者の参加が多数あり参加者からも好評であった。</p>
----------	--

団体名	8. 公益社団法人 島根県栄養士会
取組内容	<p>●食育・健康づくりのための普及啓発活動及び栄養改善・疾病重症化予防のための相談、指導に関する事業に取り組んだ。</p> <p>①研修会の開催（管理栄養士・栄養士及び一般市民対象）</p> <p>②研修会等への管理栄養士・栄養士の派遣</p> <p>③特定保健指導の実施</p> <p>④アスリートのための食生活支援に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の実施</li> <li>・平成30年度スポーツ医・科学サポート事業への管理栄養士の派遣</li> </ul> <p>⑤災害時の栄養・食生活支援に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関するイベント等への参加</li> <li>・管理栄養士・栄養士の研修会への参加派遣</li> </ul> <p>⑥介護予防</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の開催</li> <li>・松江市の介護予防事業への管理栄養士の派遣</li> </ul>
取組の感想・評価	<p>研修会やイベント等による活動においては、一定の参加者を得ることができており、今後も継続実施の予定である。</p> <p>栄養改善・疾病重症化予防のための相談、指導件数は年々増加している。今後はさらに、効果の検証を行いながら継続実施し、県民の健康づくりに寄与していきたい。</p>



団体名	9. 一般社団法人 島根県歯科衛生士会
取組内容	<p>○「歯っぴーフェスタ」開催          目的:県民に対する歯と口腔の健康づくりに対する正しい知識の普及啓発および歯科医療従事者の資質の向上をもって歯科口腔保健の推進に寄与する          日時:平成30年12月9日(日)9:50~15:00          会場:ビッグハート出雲          対象:歯科医療従事者を含むすべての県民          ★基調講演:「子どもの歯みがきについて」          講師:九州看護福祉大学看護福祉学部口腔保健学科 教授 石井 里加子先生</p> <p>★各種イベント          …クイズラリーしながら各コーナーを回り、クイズの正解と景品をお渡しした。</p> <p>◇歯のこと知っとこコーナー          ・これであなとも“お口の雑学王”          ・“歯みがき”ワンポイントアドバイス          ・情報発信ブース</p> <p>◇楽しいイベントいっぱい          ・きっと“インスタ映え”100%          ・口腔機能向上のゲーム          ・「ココロときめく♪からだcare」          アロマクラフトに挑戦 等々</p> 
取組の感想・評価	<p>基調講演:一般の方だけではなく、日頃子どもたちと関わる歯科医療従事者はじめ教育関係者や母子保健事業担当者等の参加もあり、子どもの発達についての理解や今後の活動・指導につながる前向きな感想も多かった。</p> <p>各種イベント:インスタ映えの出来栄が良く、来場者に喜んでいただけた。          スタッフ自らも楽しみながら来場者へ接することができ、歯や口の健康づくりの大切さを伝えることができた。</p> <p>初めての試みだったが、全体を通し、運営の課題はあるものの、「良かった。来年も企画してほしい。」等、好評を得た。</p>



団体名	11. 島根県在宅保健師等の会「ぼたんの会」
取組内容	<p>松江、隠岐、出雲、雲南、大田、浜田、益田の7地区において、地区の実情や課題に沿った保健・福祉活動を展開している。</p> <p>＜地域における保健・福祉活動の支援等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴムバンド体操等を取り入れた介護予防等の運動教室</li> <li>・生活習慣病予防・認知症予防・介護予防等の健康教室</li> <li>・健康劇「ぼたん座」によるメタボ予防・認知症予防等の啓発活動</li> <li>・高齢者の生きがいづくり活動（サロン活動等）</li> <li>・独居高齢者、精神保健等の訪問相談活動</li> <li>・他団体への支援（公民館活動、難病患者・家族会、認知症家族会、乳がん予防活動等）</li> <li>・「ぼたんの会」作成の紙芝居を活用した認知症啓発活動</li> <li>・健康づくりイベント（市町村等が行うイベント、看護協会主催の大学生・高校生を対象とした「まちの保健室」）への参加、協力</li> <li>・健康長寿しまねへの参画（県、各圏域での推進会議への出席、キャンペーン等への協力）</li> <li>・市町村が行う保健事業（特定健診・保健指導等）への協力</li> </ul>
取組の感想・評価	<p>運動教室、サロン活動は、高齢者のコミュニティや居場所づくりに繋がっている。健康劇「ぼたん座」は、中高年の健康教育や地域住民の健康意識の普及啓発に効果的である。また、国保連合会が行う市町村保健活動支援事業への協力を行うことで、市町村の業務負担の軽減及び効果的・効率的な事業展開に繋がっている。</p> <p>今後も、基本目標である健康長寿を目指し、地域に根ざした保健活動に取り組んでいきたい。</p>





団体名	12. 島根県保育協議会
取組内容	主任保育士・主幹保育教諭研修会の開催 期日：平成 30 年 6 月 22 日（金） 場所：パルメイト出雲 施設長研修会の開催 期日：平成 30 年 7 月 3 日（火） 場所：ビッグハート出雲 新任職員研修会の開催 期日：平成 30 年 7 月 9 日（月）・平成 30 年 7 月 12 日（木） 食育推進研修会の開催 期日：平成 30 年 8 月 4 日（土） 場所：朱鷺会館 隠岐地区研修会の開催 期日：平成 30 年 9 月 1 日（土） 場所：隠岐島文化会館 保育士・保育教諭スキルアップ研修会の開催 期日：平成 30 年 9 月 15 日（土） 場所：あすてらす 保育者研修会の開催 期日：平成 30 年 9 月 29 日（土） 場所：江津市総合市民センター 第 62 回島根県保育研究大会の開催 期日：平成 30 年 11 月 17 日（土） 場所：出雲市民会館
取組の感想・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化や人口減少社会の進行とともに、子どもの発達と子育てをめぐる多くの問題が生起し社会化する中で保育所が地域における子育て支援の拠点として、より一層機能するための取り組みを推進した。</li> <li>・乳幼児期からの健康づくり、体力づくりを日常の遊びを通して学んだ。</li> <li>・乳幼児期からの基本的食習慣（特に朝食を食べる習慣）の啓発に努めた。</li> <li>・咀嚼を促すことと等の情報を発信した。</li> </ul>

団体名	17. 公益財団法人島根県体育協会
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○がん健診受診率向上を目指した街頭キャンペーンへの参加</li> <li>○県立体育施設での高齢者向けの教室を開催した。 「脳と心と身体のバランス講座」 「いきいき健康」 「軽スポーツ」 「介護予防体操」</li> <li>○県立体育施設において、65 歳以上の利用者を対象に利用料金の一部を補助。</li> </ul>



団体名	21. 島根県商工会連合会
取組内容	○「人間ドック」の受診促進 ○建物外での喫煙による受動喫煙防止
取組の感想・評価	○人間ドックは対前年で40%程度の増であり、ドック受診の意識は高まっている。



団体名	24. 島根県農業協同組合 (JAしまね)
取組内容	<p>JAの組合員や地域住民が参加する場を「くらしの活動」と位置付け、JA女子大学、子育て食農教育活動、男の料理教室、親子料理教室、ウォーキング大会、認知症サポーター養成講座、健診・検診の促進等毎年度継続的に開催している。また、県内の協同組合等が連携して「フードバンク」を試行的に取り組んだ。</p> <p>事例1. 「みんなでやろう！ニコニコおむすび大作戦」(新規) おむすびを握ることでコメの消費拡大や食と農への理解を深める活動に取り組んでいる。一例として「中国クラブネットワークアクション2018」(中国5県の県体育協会)の会議で、県外の方、JAと関りのない方に広く組織活動や金芽米の周知を行い、米消費拡大と食農教育へつなげる事を目的として実施。(JAしまね女性部フレミズ部会)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>事例2. フードバンクしまね「あったか元気便」の試行的実施(新規) 食糧支援を目的に、フードバンクしまね「あったか元気便」準備会として、松江市内において試行的に実施(夏休み2回、冬休み1回)。 【参加団体：古志原公民館、グリーンコープ島根、島根県労福協、生協しまね、松江保健生協、JAしまね、地域つながりセンター】</p> <p>事例3. 食と農について考える場の提供「食農教育」(継続) アグリスクールや収穫祭などを通じて食と農について、学習の機会を提供(石見银山あぐりスクール、雲南あぐりキッズスクール、斐川あぐり探検隊等)</p> <p>事例4. 体力づくりの場の提供(継続) 健康寿命100歳プロジェクトとして「ウォーキング大会」等を通じて、体力づくりの場を提供。またゴミ拾いを兼ねた美化ウォーキング等、創意工夫により実施している。</p> <p>事例5. 担い手人間ドックの場を提供(継続) 健診機会を失いがちな、農業の担い手および従業員・家族等に対して人間ドックの場を提供。健診を啓発し受診料の一部補助も取り入れながら、受診を促している。(県全体)</p>
取組の評価・感想	<p>今後も、継続的に取り組んでいきたい。</p>



団体名	26. 島根県環境保健公社
<p>取組内容</p>	<p>がん検診をはじめとした各種住民健診、職域における定期健康診断、歯周病検査、ストレスチェック検査等を実施しました。</p> <p>実施に際しては離島・山間部の方々にも等しく受診機会を提供できるよう、日程等の確保に努めました。</p> <p>また、がん検診受診率向上を目的としたイベントの開催の他、年間を通じてチラシの配布、ラジオ・新聞を利用した活動など、地域・職域を問わず健康づくりの推進に向けた普及啓発活動を行いました。(別紙)</p>
	<p>【島根県環境保健公社】平成30年度健康長寿しまね活動報告(様式2の別紙) 『平成30年度の主な取り組み(健診事業以外の普及啓発活動)』</p> <p>◇若い世代への啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層を対象としたイベントに参加して健康に関する情報の発信</li> </ul> <p>◇地域住民への啓発活動、健診受診の重要性(疾病の早期発見)についての活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広く一般を対象としたイベントの開催、参加</li> <li>・がん征圧月間における街頭活動</li> <li>・ラジオ、新聞等を利用した啓発活動</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>[イベントの開催・参加]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>[街頭活動]</p>



団体名	28. 島根県国民健康保険団体連合会
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住民主体の地区ごとの健康づくり活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の心と体の健康づくりに資する取り組みを実施している在宅保健師等の会「ぼたんの会」の活動支援</li> </ul> </li>   <li>●生涯を通じた健康づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>【全体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民を対象とした健康づくりに関する講演会の開催</li> <li>・健康づくりイベント支援（市町村等が実施する健康づくりイベントに対する人的支援及び測定機器の貸出）</li> </ul> </li> <li>【栄養・食生活、運動、こころ・休養】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルシーメニューのレシピ、身体活動のコツ、心の健康等について機関誌に掲載</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>●疾病の早期発見、合併症予防・重症化防止 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診結果（検査値）に基づく医療機関への受診が必要と思われる者の抽出、市町村への情報提供</li> <li>・特定健診等受診率向上対策支援として、国保保険者への未受診者リストの送付、健康づくりイベント等での受診促進を図るためのグッズ配付</li> <li>・糖尿病性腎症重症化予防対策支援として、県と共同での市町村の取組み状況調査、調査結果に基づく市町村個別の基準値に沿った対象者リストの作成提供</li> <li>・在宅保健師等の会「ぼたんの会」との連携による市町村が行う特定健診・保健指導等支援</li> <li>・がん検診受診率向上を目指した街頭キャンペーンへの参加</li> </ul> </li> </ul>
取組の感想・評価	<p>健康づくりに関する講演会は、多数の来場者があり、例年好評を得ている。</p> <p>また、市町村等が実施する健康づくりイベントにおいて、本会が設置する測定コーナー（骨密度測定・血管年齢測定）に、毎回多数の住民が訪れるなど、健康づくりの意識啓発に貢献できていると考える。</p> <p>疾病の早期発見、重症化予防においては、市町村のニーズを踏まえ、対象者抽出等きめ細やかな支援ができた。</p> <p>今後は更に幅広い取り組みの実施を推進し、健康長寿しまねの基本目標である健康寿命の延伸に寄与していきたい。</p>

団体名	30. 全国健康保険協会島根支部
取組内容	<p>【全体】</p> <p>① ヘルス・マネジメント認定制度の推進による事業所における健康づくりの促進</p> <p>【事業所の健康づくり支援】</p> <p>① ヘルス・マネジメント認定制度における健康宣言事業所及び認定事業所に対するサポート事業の普及及び促進</p> <p>(事業内容)</p> <p>① 健康づくり出前講座(生活習慣病、食生活、歯、運動、禁煙、メンタルヘルス)</p> <p>② 健康測定機器貸出(血管年齢測定器、肺年齢測定器、体組成計)</p> <p>【喫煙対策】</p> <p>① 受動喫煙対策ポスターの作成</p> <p>② 「禁煙支援研修会第240回禁煙アドバイザー講習会」でのヘルス・マネジメント認定制度を通じた事業所における受動喫煙対策の取組みを説明</p> <p>【歯の健康とメンタルヘルス】</p> <p>① 「その他運輸業」の事業所に対する歯周病検査の実施</p> <p>【疾病の早期発見、合併症予防、重症化防止】</p> <p>① 特定健診について、各市町村のがん検診との同時実施</p> <p>生活習慣病予防健診受診者のうち、血圧値・血糖値が要治療と判定されたにも関わらず、医療機関を受診していない者に対して、受診勧奨を実施</p>
取組の感想・評価	<p>ヘルス・マネジメント認定制度におけるエントリー事業所は714事業所(3月14日現在)であるが、今後も更なる普及、拡大に努めることにより、多くの事業所での総合的な健康づくりを推進していきたい。</p>



団体名	31. 島根県公民館連絡協議会 (松江市川津公民館)
取組内容	<p>○生涯学習を通じた健康づくり、介護予防、生きがいづくりへの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味や生きがいづくりの参考となるような果樹の手入れ方法を学ぶ植物講座や歌をテーマにした文化講座を開催した。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お達者落語会」を開催し、笑いによる免疫力の効果について学ぶ機会となった。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年11月23日を「川津健康の日」とし、イベントの中で健康チェックコーナー設けた。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診啓発講座にて体験談をお聞きし、検診の大切さをPRした。</li> <li>・毎月第3金曜日に高齢者体操（ADL体操）を開催し、高齢者の健康づくりや介護予防につながる取り組みを行なっている。</li> <li>・町内会単位で行われているなごやか寄り合い事業への支援を行い、高齢者の閉じこもり防止や交流の場としての取り組みを続けている。</li> </ul>
取組の感想・評価	<p>地域住民を対象に健康づくり、介護予防、生きがいづくりにつながる講座を開催し、多くの方に参加していただき、住民同士の交流の場にもなった。特に歌や音楽、笑いをテーマにした講座では参加者も多く、楽しみながら学べる機会となったと思う。</p>



団体名	33. 公益財団法人 島根県老人クラブ連合会
取組内容	<p>○住民主体の地区ごとの健康づくり活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ会員や地域の高齢者に向けて、健康づくり・介護予防につながる活動を先進的に実施しているクラブ・老連に対し「活動賞」を贈呈した。</li> <li>※H30年度 受賞6団体の内2団体が活動区分/健康づくり活動受賞</li> <li>・地域における健康づくり・介護予防活動の推進を図るため、「サロンで楽しく介護予防」(H29年3月発行)及び「健康づくり・介護予防活動実践事例集」(H29年10月発行)を本会ホームページに掲載し、情報提供を行った。</li> </ul> <p>○高齢者の健康づくり、介護予防、生きがいづくり、社会参加への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の高齢者に対する健康づくり活動を推進する実践者を養成し、各市町村老連において友愛活動をより一層推進していくための継続的な学習するため、参加対象は会員・非会員不問として健康づくり推進員養成研修会(老人クラブリーダー研修会・友愛活動実践推進者研修会を兼ねて実施)を実施。</li> <li>・シニア体力測定・いきいきクラブ体操(老人クラブオリジナル)普及のため、体力測定用具の貸し出し及び広報啓発ツールの配布を実施。</li> <li>・日頃の活動や地域活動への参加を自分で記録し、それをポイント化してお達者度を判定することで高齢者の健康生きがいづくり・介護予防、閉じこもり防止につながるツールである「お達者手帳(島根県老連オリジナル)」の本会ホームページへの掲載による普及を行った。</li> <li>・会員をはじめ地域のシニア世代が集い、グラウンド・ゴルフを通じて、健康の保持・増進、孤立を防止する新たな仲間づくり・生きがいづくりの一助となることを目的に「まめなかいしまねグラウンド・ゴルフ大会」の開催。</li> </ul>
取組の感想・評価	<p>○県内3会場(松江市・浜田市・隠岐の島町)で開催した健康づくり推進員養成研修会(老人クラブリーダー研修会・友愛活動実践推進者研修会を兼ねて実施)には、各市町村から会員120名・会員外33名の計153名が参加された。</p> <p>○各地域においては、サロン等の集いの場を活用した健康づくり・介護予防活動の積極的な取り組みが行われている。</p>





団体名	34. 島根県連合婦人会
取組内容	<p>○食品ロス削減国民運動への取組</p> <p>【平成26年度】 ろすのん三角柱を制作 ～ 食べものに、もったいないを、もういちど ～ 「NO-FOODLOSS PROJECT」をテーマに県下全会員へ配布。</p> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引続き食品ロス削減に取り組んだ。家庭の食卓から食品ロス削減への実践。</li> <li>・食材食べきりレシピ考案。</li> </ul> <p>食材を無駄なく使用する調理方法や長期保存できる加工方法の考案。 また冷蔵庫に残った出来合いの料理を工夫しアレンジレシピの考案。</p>
取組の感想・評価	<p>○感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロスが年間500～800万トンあるという事。</li> <li>・日本のお米の年間収穫量に匹敵するぐらいの量であるということ。</li> <li>・東京ドームで換算するとおおよそ14～15個分の量。</li> <li>・日本は食品ロスが多い国であることを知ることが大切。</li> <li>・「もったいない」の意識と知識を活用し実践していく。</li> <li>・普段捨てるような部分でも工夫すれば調理、保存ができる。</li> <li>・冷蔵庫に残っている晩御飯の残りや出来合いの料理を足して上手く合す事が出来たら一風変わった料理に変身できる。調理時短にも繋がって良い。アレンジして食べる事により無駄が無く、冷蔵庫も綺麗になって良い。</li> </ul> <p>○取り組める事として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▽家族の人数、1週間の予定を考え、食べられる量を購入</li> <li>▽消費する工夫、料理を楽しむ時間を作る</li> <li>▽家庭オリジナルの食べきりレシピを考案</li> <li>▽冷凍保存、乾燥保存の活用 等</li> </ul>

団体名	35. 島根県食生活改善推進協議会
取組内容	<p>スローガン 私達の健康は私達の手で</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○健全な食生活や生活習慣の定着を図るため、地域での実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜たっぷり・塩ちょっぴりの情報発信</li> <li>・うすあじ習慣の取り組みとして、家庭のみそ汁の塩分測定実施</li> <li>・バランス食の推進と野菜の摂取量</li> <li>・子どもの調理実習体験</li> <li>・郷土料理の啓発普及</li> </ul> </li> <li>○食育活動の推進</li> <li>○食文化の継承とバランスガイドの普及</li> <li>○生活習慣病の予防と改善</li> <li>○若者・働き世代の食育推進</li> <li>○高齢者の低栄養・認知症・ロコモ予防</li> <li>○シニアカフェ（高齢者の閉じこもり予防）</li> <li>○運動の推進</li> <li>○禁煙の推進</li> <li>○地球温暖化防止対策を推進し環境浄化に努める</li> <li>○がん検診の声かけ、誘いあい</li> <li>○災害に備えた地域づくりの推進</li> <li>○睡眠・休養の推進</li> </ul>
取組の感想・評価	<p>味噌汁の家庭訪問による塩分測定は、毎年の継続で薄味の家庭が増えてきている。野菜摂取量は若い年齢層は1日に1～2皿があり、年齢が高くなるにつれて摂取量も増えている。20歳代から30歳代は朝食の欠食もあり、バランス食も実施されていないことから、若い世代の食育推進に努めることが課題だと思います。</p> <p>子供の調理実習体験は夏休みを利用し、また学校にも入らせていただいておりますので、調理のできる子供が増えてきています。</p> <p>地域の郷土料理を若い世代に伝えることで食文化の良さが繋がりがつあります。</p> <p>シニアカフェは高齢者の増える中、閉じこもり予防、供食の楽しさを味わってもらい、要介護防止に努めており、参加者は次回を楽しみにしておられます。</p>



団体名	44. 島根労働局 労働基準部健康安全課
取組内容	<p>1 治療と仕事の両立支援            疾病を抱える労働者の病気の治療と仕事との両立を支援するため、県、医師会、医療機関、労使団体等の関係機関と連携しながら、県内事業場における環境整備を推進するとともに、相談窓口や両立支援コーディネーターの利用促進を図っている。</p> <p>2 過重労働による健康障害防止            時間外労働の上限規制や医師による面接指導の強化、産業医・産業保健機能の強化等働き方改革関連法の内容について、研修会等を通じ、事業者、労務担当者、産業保健専門職等に対し周知・徹底を図っている。</p> <p>3 メンタルヘルス対策            ストレスチェック制度について、法令上の義務に基づく実施の徹底はもとより、実施義務のない労働者数 50 人未満の事業場での実施や集団分析を通じた職場環境改善について、助成金の活用も促しながら、浸透・定着を図っている。</p> <p>4 受動喫煙防止対策            事業者に対し労働者の受動喫煙防止のための措置を講じるよう促すとともに、喫煙室、屋外喫煙所の設置等のための費用の一部を助成する「受動喫煙防止対策助成金」の周知、利用勧奨、審査業務等を行っている。</p>



団体名	46. 島根県農林水産部
取組内容	<p>県民の食に対する関心と理解が深まるよう、以下の取組により農林水産物や生産現場・生産者などについて理解促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 農林水産業・農山漁村の役割などへの理解を深めるため、職員による出前講座や各種広報媒体による情報発信等を実施。</li> <li>● 食に関する情報を集めた食のポータルサイト「しまねのおいしい食 GUIDE (<a href="http://www.shimane-syoku.jp/">http://www.shimane-syoku.jp/</a>)」による情報発信、直売所マップの拡充、生産者と消費者を結ぶ産直の取組推進、県産品を積極的に取り扱う量販店の「地産地消推進店」認証及び取組支援などにより、県産品の利活用推進及び理解促進を図った。</li> <li>● 有機農業の取組推進のため、生産者が行う消費拡大や住民との交流などの取組を支援。また、保育士や子育て中の保護者向けの食育講座、親子有機農業体験実習、消費者向けキャンペーンなどを実施。</li> <li>● 「美味しまね認証」制度について、県広報、新聞、雑誌等での広告や美味しまね認証HP等を通じてPRを実施。また、「食の縁結び甲子園」で認証品を使った料理教室や、消費者への出前講座、フェアやイベントで制度や認証品を紹介し、理解促進を図った。</li> <li>● 漁協等が行う料理教室などを通じた魚食普及活動、地元水産物や漁村・漁業への理解促進活動を支援。また、地元加工業者等と連携して学校給食での地元産魚介類の利用試験と、給食提供にあわせて水産教室を実施。</li> </ul>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「しまねのおいしい食 GUIDE」のプレビュー数が目標を上回る 13,574pv/月(H30.12末現在)となった。</li> </ul>



団体名	48. 島根県教育庁保健体育課健康づくり推進室
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 全体的な取組</li> <li>○ 「しまねっ子元気プラン（第二次）」に基づく健康課題解決のための学校保健活動の推進</li> <li>□ 取組の具体例</li> <li>○ 生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャッチフレーズ「しつのよいまなびとねむり しまねの子」の普及</li> <li>・ 「子どもの健康づくりサポート事業」 <ul style="list-style-type: none"> <li>：健康とメディア学習教材の作成・配付</li> <li>：眠育とメディアコントロールに関する専門医・専門家の派遣</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○ 栄養・食生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「食の学習ノート（小学生用・中学生用・高校生用）」の作成・配付</li> <li>・ 「朝はいっぱいのみそ汁を飲もう！」をスローガンにした和食の推進</li> </ul> </li> <li>○ 運動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「しまねっこ元気アッププログラム」の普及と充実</li> </ul> </li> <li>○ 喫煙・飲酒 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 喫煙・飲酒防止を含んだ薬物乱用防止教室の実施の推進</li> <li>・ 薬事衛生課と連携した、指導者研修会への教職員の参加を促す取組</li> </ul> </li> <li>○ 歯と口腔 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県歯科医師会と連携した歯と口の健康づくり</li> <li>・ 平成 29～30 年度「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業」の取組（指定校：島根県立浜田ろう学校）</li> </ul> </li> <li>○ ところ・休養の健康 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「子どもの健康づくり事業」及び「心と性の健康相談事業」による地域の専門家と連携した取組</li> </ul> </li> <li>○ 第 63 回中国地区学校保健研究協議会（島根県大会）の開催（松江市）</li> <li>○ 早寝早起き朝ごはん国民運動「早寝早起き朝ごはんフォーラム in しまね」の開催（益田市）</li> </ul>
取組の感想・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの健康課題の解決に向けて、家庭や地域を巻き込めるよう、他課や関係団体と協働した取組を今後も一層、進めていきたい。</li> </ul>

団体名	49. 島根県教育庁社会教育課
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ がん検診受診率向上を目指した街頭キャンペーンへの参加</li> <li>・ 学校・家庭・地域の連携協力体制の構築、公民館を中心とした地域住民の交流による地域力の醸成、その他生涯学習の振興などを推進するための事業展開</li> </ul>